

大根から抗がん成分を得るには、おろしてから5分後に食べる

マウスにがん細胞を移植し、MTBITCを投与した結果

(投与前)

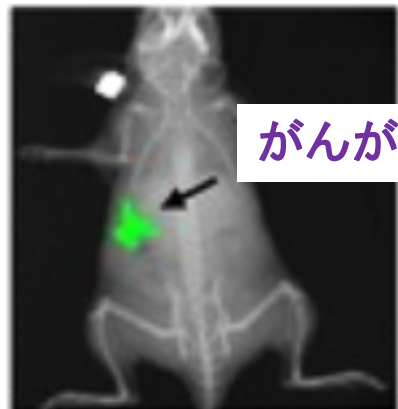
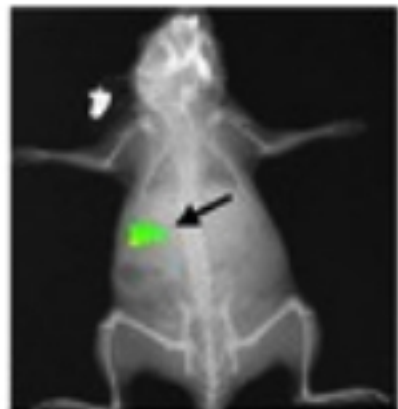
(21日後)

Pre-treatment, day 0

day 21

(対照)

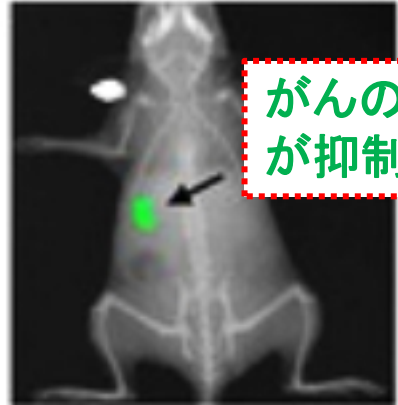
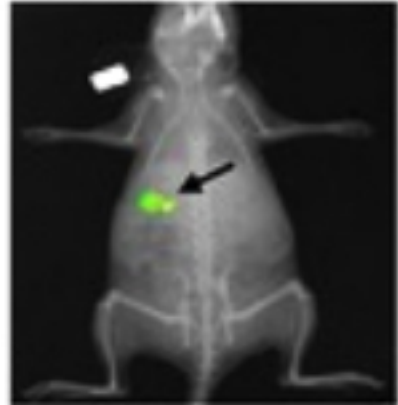
Control



がんが増殖

(MTBITC投与)

MTBITC 50 mg/kg/day



がんの増殖が抑制

(原図の出典: DOI:10.1111/jcmm.12412)



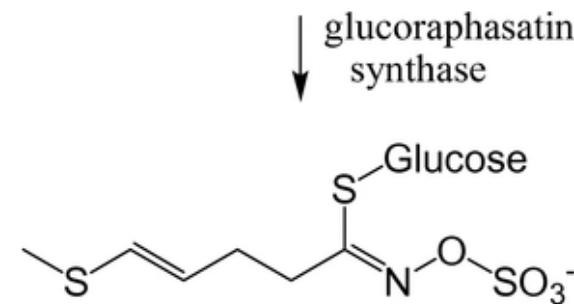
グルコラファサチン

グルコラファサチン
 <細胞質中>
 +
 ミロシナーゼ
 <液胞中>

約5分

MTBITC(4-メチルチオ-3-ブテニルイソチオシアネート)(別名:ラファサチン)が生成する。

比較的速やかに、TPMT(2-[(2-thioxopyrrolidin-3-ylidene-)methyl]-tryptophan)という、辛くなくて、黄色い色素成分へと変化してしまう。



MTBGLS

↓ myrosinase

